

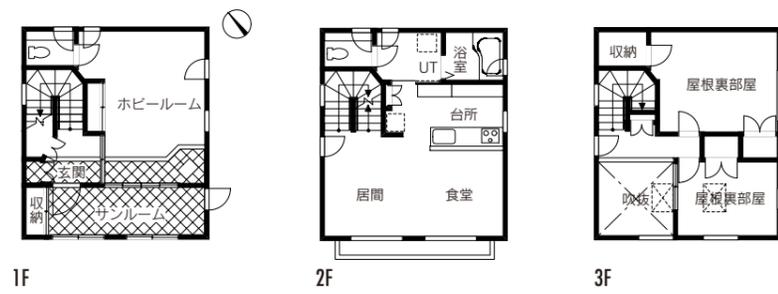


上階は秋田スギの板張り。屋根上の太陽熱利用で、夏場は電力消費量を削減できる



棟梁 嵯峨 康輔

「経験を重ねていい家づくりを勉強しなさい」と棟梁として建築にあたりました。若手育成と技術の伝承も考える当社専務の考え方を粋に感じて日々取り組んでいます。現場を任せられる責任感。職人として、より精度の高い住宅づくりを皆様にご提供していきます。



2



3



1

●秋田県秋田市・Sさん宅
夫婦50代、子ども1人

次世代基準との比較 ※室温設定(日平均)20℃による計算値

| | 熱損失係数 (W/mK) | 灯油消費量 (リットル) |
|--------|--------------|--------------|
| 次世代基準 | 2.40 | 1,321 ※ |
| Q1.0仕様 | 1.00 | 214 ※ |
| | 延べ床面積 | 1㎡あたり灯油消費量 |
| Q1.0仕様 | 131.37㎡ | 1.63 |

- 気密性能 C値未測定
- 断熱
基礎/スチレンフォーム(B3)100mm(外側)+50mm(内側)
壁/高性能グラスウール16kg240mm
屋根/高性能グラスウール16kg355mm
- 開口部
玄関ドア:木製断熱ドア、窓:樹脂サッシ
- 換気 第1種熱交換換気
- 暖房 ヒートポンプ温水床暖房+薪ストーブ

●施工エリア



秋田支部

志村建設(株)
TEL 0184-22-3400

秋田県由利本荘市中梵天68-1
http://www12.ocn.ne.jp/~shimura/
E-mail:shimu@eos.ocn.ne.jp



5

- 1.2階と3階部分を吹き抜けに。床は古材とトーンを合わせ、落ち着いた色合いのサクラを採用
- 2.1階には多目的に使えるホビールームが。薪ストーブを設置し、サブ熱源として3階まで暖める
- 3.古材の梁が風格を添える2階LDK。窓から日射をたっぷり取り込む
- 4.玄関前のサンルーム。外光を十分に受ける土間の蓄熱効果により包み込むような暖かさ
- 5.ドアも床も秋田スギの柔らかなトーンでまとめた最上階



4

FILE 03

高い性能と快適性も、職人の技術があればこそ 自然エネルギーと素材を使った エコ&サステナブルな住まい

■秋田県秋田市・Sさん宅 ■設計・施工/志村建設(株)

秋田市の閑静な住宅街に立つSさんの新居。北の丸の家と名付けられたこの住まいには、設計・施工した志村建設の技術とこだわりが結集されています。

城址公園に続く風致地区に位置する土地は、周囲を住宅に囲まれた37坪の狭小地。居住空間の確保と周辺環境への配慮も求められます。同社では棟高10メートル以下に抑えた3階建て住宅という構造でSさんの希望に応え、しかも伝統の在来工法で完成させました。

暖房は、深夜電力を利用した1階土間床の温水蓄熱ヒートポンプシステムをメインに、薪ストーブを併用。さらに開口部の配置により太陽熱を取り込みます。給湯もヒートポンプに加え、屋根上に太陽熱利用の省エネ設備を導入。Q1.0住宅の高い断熱性能をベースにパッシブを十分に活用した、これぞまさにエコ住宅です。

木肌が印象的な外壁はもちろん、室内にも地場の秋田スギをふんだんに使用。柱や梁に使われた古材は風合いのみならず、良質な乾燥材として利用できます。こうした地域の資源を使ったサステイナブルな建築も、実は志村専務がこだわったことの一つでした。

「住み手の不安は、誰が将来にわたって住宅をメンテナンスするのかということ。地場工務店として、在来工法の技は受け継いでいかなければ」と思いを語ります。古くからの職人の技とQ1.0住宅の最新技術を融合させたS邸は、まさにその思いとこだわりが凝縮された住まいでした。